

アコヤガイモニタリング調査結果

(調査日：令和 8 年 9 月 29 日)

愛媛県農林水産研究所水産研究センター

1 調査結果の概要

- ・閉殻筋グリコーゲン含量は、全海域において健康度の指標となる 3%を上回った
- ・閉殻筋の赤変個体は確認されず、赤変度合いを示す a 値の平均値も低かった
- ・ビルナウイルスの感染が疑われる外套膜委縮、真珠層褐変個体は確認されなかった
- ・貝肉の状態も回復傾向にあるものと観察されますが、水温は平年より高めに推移しています。引き続き、貝の管理に注意願います。

2 調査結果一覧

() 内は昨年同月の値

漁 場 ^{*1}	貝 の 種 類 (R7 産)	グリコーゲン含量 平均値 (%)	a 値 平均値	赤変個体 (個)	褐変個体 出現率
北 部	日中交雑貝 ^{*2}	4.8 (5.1)	-1.4 (-0.2)	0 個 (0)	0% (0)
中 部①	日中交雑貝	3.1 (2.9)	+0.3 (-0.7)	0 個 (0)	0% (0)
中 部②	日中交雑貝	4.7 (2.6)	-0.4 (+0.1)	0 個 (0)	0% (0)
南 部	日中交雑貝	3.9 (3.1)	+1.0 (-0.7)	0 個 (0)	0% (0)
平均値		4.1 (3.4)	-0.1 (-0.4)		

*1 漁場： 北部：三浦半島以北 中部：由良半島から三浦半島 南部：由良半島以南

*2 日中交雑貝：日本貝と中国貝の交雑貝

3 調査方法

- ・5 月から 11 月まで月 1 回（概ね第 3 週）、各漁場・種類毎に 20 個を調査。
- ・サンプルは、愛媛県漁業協同組合本所宇和島事業部が、調査日 2 日前をめぐりに各漁場で採取して持ち込んだアコヤガイ母貝（2 年貝）。

4 調査項目および判断指標

- ・グリコーゲン含量 (%)：アコヤガイの栄養蓄積状態を示す指標で、数値が高いほど良好。
- ・a 値：閉殻筋（貝柱）の赤色度を示す指標で、数値が高いほど赤みが強い。
赤みを帯びた黄色で 3、明らかな赤色で 5 以上。

「アコヤガイ飼育管理の手引」公開中

<https://www.pref.ehime.jp/uploaded/attachment/111520.pdf>